

(様式3) 【学校用】

ふるさと教育 取組事例

学校名	西ノ島町立西ノ島小学校		
学 年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
4	総合	西ノ島の自然を味わおう	安達和良さん(西ノ島の養蜂家) 隠岐しぜん村の方々
ねらい		西ノ島の自然について、触る・踏み入れる・食べるなどして体験的に学び、その良さを他者に伝える。	
<p>1 取組の概要</p> <p>地元の養蜂家である安達さんが育てているニホンミツバチに出会い、特徴や育て方などを教えてもらう中で、西ノ島のよさを知り、西ノ島の自然について興味のあること(植物・生き物・地形・海)をグループに分かれて調べていった。それぞれのグループでは、資料を使ったりインタビューをしたりして、調べ方を考えながら進めた。</p> <p>また、発表会を行い、保護者や地域の方に西ノ島の自然について伝えた。</p> <p>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。</p> <p>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○西ノ島の自然のよさに気づき、西ノ島への愛着を高めるために、ニホンミツバチを育てている地域講師や、隠岐のことについて詳しく知っている隠岐しぜん村の方々にインタビューを行った。 ○誰に発表するか目的意識をもって発表準備や発表を行うことや、感謝の気持ちを高めるために、発表会にお世話になった方々を招待した。 <p>(学力育成の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○インタビューをしたり、グループで発表の資料を作ったりすることで、考える力を付けられるように取り組んだ。 ○発表を聞いてもらう人(地域講師、保護者、他校の児童)を意識することで、より分かりやすく伝えられるように目的意識をもって発表の準備を行った。 <p>3 児童・生徒に見られた変容(どのような力が身に付いたか等)</p> <p>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○西ノ島のよさを、たくさんの人に伝えることで、ふるさとへの愛着や誇りをもつことができた。 <p>(学力育成の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○聞き手を意識することで、必要となる情報を質問したり、さらに資料を探したりすることができた。 ○グループで、発表内容を考えたり、資料を作ったりする活動を通して、話し合いの活動に児童が進んで取り組んでいた。 <p>4 課題や今後の展望</p> <ul style="list-style-type: none"> ○西ノ島の自然について体験することや調べることの内容が多く、時期もまとまらないため、学習の流れを考えることが難しかった。探究的な学習の時間のサイクルを年間で回していくように指導計画などの修正をしていきたい。 ○調べて分かったことを発表する際に、相手にわかりやすいようにまとめたり、伝えたりすることに難しさがあった。 ○西ノ島のよさについて学習したことや今後学習していくことを、授業以外でも他者に伝えられるようになってほしい。 			

※取組の様子がわかるような画像(1枚が500kb以下)を数枚貼り付けてください。

※この事例をしまねのふるさと教育ホームページに掲載する予定のため、画像は必ず承諾を得たものにしてください。



※取組の様子がわかるような画像(1枚が500kb以下)を数枚貼り付けてください。
※この事例をしまねのふるさと教育ホームページに掲載する予定のため、画像は必ず承諾を得たものにしてください。